

進路室だより

静岡県立富士高等学校進路課

コロナ禍の不自由さのなかで、立派に100周年を飾った75回卒業生たちの今春の進路を振り返る。

一言でいうと、とてもよく頑張った3年生たちだった。振り返ると、「型づくり」から始めようとして最初の学年集会で話した直後に休校となった3年前。「これから始まる高校生活はどうなるのだろう」と教員も生徒も不安のスタートとなった。それから3年間、学校行事も部活動も自粛・制限され、途方に暮れる日々を過ごすことになった。それでも、いや、それだからこそ、学校再開後の学校生活の一日一日を、大切に過ごそうとした生徒たちの姿があった。今春の卒業生たちの進路結果がまとまった。それを総括してみる。・・・

国公立大学進学者が174名（前年206名 ㊦8クラス）、私立大学合格は、769名（前年1110名 ㊦8クラス）であった。前年度の卒業生が、8クラス、我々の学年は7クラスであり、1クラス分40名減なため、一概に比較は難しい。ただ、この卒業生は受験直前まで志が高く、それが最後まで生徒たちの「向学心・向上心」の維持につながったのではないかと思う。東京大学の推薦合格に2名が挑み、高校生活の継続した研究・活動が評価され、両名とも一次試験を突破したことは評価に値する。もちろん、「合格しなければ意味はない」という人間もいるだろう。しかし、難関大学に挑み、その過程で大きく成長する両名の姿を、自分は目の当たりにし、このかけがえのない経験が両名の今後に大きなプラスとなったことを確信した。同様に、東京大学の理Ⅲに挑んだ生徒、また難関といわれる旧帝大に挑んだ生徒、その合否はともかく、高校生の総決算に、不安と闘いながら、自分の可能性に挑戦した生徒の、精神的成長はとてつもなく大きく、将来における財産となったに違いない。受験とは、「挑戦することで、幼い高校生を大人に変える。」大切な「通過儀礼」ではなからうか。

今回の入試で、顕著だったのは、私立大学の受験が大幅に減ったことが挙げられる。前年度卒業生が総受験者数が1998名（合格1110名）だったのに対して、1562名（合格769名）であった。1クラス40名減にしては、極端に受験人数が減っている。これは、コロナ禍による不景気が影響したためか、少子化のために、私立大学が入りやすくなったためか、または様々な制約のおかげで生徒に対する進路指導が不足したために的確な大学選びがなされなかったためなのか、今後の分析を要する。私立大学への実際の進学者数は、前年が114名に対して、今年度は86名であった。（あくまでも1クラス減の結果であるが、それ以前のデータをみると、本校では、やや私学離れ傾向にある。）

それとは矛盾している現象かもしれないが、5-7形成率（5教科7科目受験のこと）がやや低下したことは反省点でもある。やはり富士高校としては、受験のために高校生活があるのではなく、充実した高校生活の結果として難関大といわれる受験への成功があるべきである。だからこそ、受験のために受験教科・科目を絞るのではなく、バランスの良い学習を継続し、学力・知力・判断力にすぐれた、高校生としてスケールの大きな人間に育ててほしいのである。その大きな基準として、5-7形成率にもこだわって指導していきたいものである。

いずれにしても、富士高生は将来、政治・文化・経済、そして、地域・教育界において、我が国のリーダーになってほしい人材が集まってくることは間違いない。その我々が、地域や国の将来を左右する大切な若者を育成していることの責任の大きさを改めて感じた3年間であった。

2022年度 第3学年部主任 野村 保

1. 合格者数一覧

大学種別コード	現 役		既 卒 者		現・既 計		計	
	本年度	(昨年度)	本年度	(昨年度)	本年度	(昨年度)	本年度	(昨年度)
国 立 大 学	146	(153)	10	(8)	156	(161)	186	(215)
公 立 大 学	28	(53)	2	(1)	30	(54)		
私 立 大 学	769	(1110)	39	(30)	808	(1140)	808	(1140)
国公立短期大学	0	(3)	0	(0)	0	(3)	0	(5)
私立短期大学	0	(2)	0	(0)	0	(2)		
文科省所管外大学	4	(4)	0	(0)	4	(4)	4	(4)
各種学校・専修学校	3	(4)	0	(0)	3	(4)	3	(4)
総 計	950	(1329)	51	(39)	1001	(1368)	1001	(1368)

2. 合格状況の分析

(1) 国公立大学

国公立大学の一般選抜の志願者数は、42万3,180人と前年から約5,500人減少（前年比99%）、募集人員に対する志願倍率は前年同様の4.3倍、国公立大入試の中心となる前期日程の志願者数は、231,450人（前年比99%）となった。共通テストの受験者数前年比97%と比較すれば、減少率は低く抑えられており、国公立大の人気は堅調といえる。共通テストの平均点の上昇を受け、積極的に国公立大学に出願した受験生が多かった様子が伺われる。また、地域別に志願者数を比較すると、北海道、東北、北陸、四国、九州などで前期日程の志願者が減少した一方で、関東、東海、近畿で増加し、受験生の人気が集まっていた。

2023年度入試における本校の国公立大学現役合格者数は174人（総合選抜・学校推薦型含む）であった。共通テストの平均点が上昇し、二次試験における記述力を見極めて、慎重に出願を検討しなければならない入試となった。合格した生徒の多くは、最後まで諦めずに直前補講や個別指導をしっかりと受け、真摯に勉強に向かっていた。その結果、後期試験でも旧帝大の北海道大学や東北大学、筑波大、名工大、秋田県立大など22名の生徒が合格を勝ち取った。また英語検定を利用し、合格した生徒も多数いた。

難関国公立大学の結果（ ）内は昨年度人数

東京1名(1) 京都4名(4) 医学部医学科2名(4)
東京工業1名(1) 大阪2名(3) 東北7名(11)
名古屋10名(8) 北海道3名(4) 九州1名(2)

(2) 私立大学

昨年度に比べて全体の志願者数が減少した一方で、難関私大を中心に志願者数が増加している大学もあり、受験生の人気の一部の大学に集中する傾向が見られる。入試方式別に見ると、一般方式に比べ、共通テスト利用方式に堅調に志願者が集まった。これには、共通テストの平均点が高得点となったことが影響していると考えられる。また、難関私大を中心に、国公立大学と同じ共通テストの受験科目を受験生に求める動きが見られ、最後まで5教科7科目を学び続けることの重要性を改めて認識するものであった。その中で、本校生徒は共通テスト利用方式を上手く活用し、合格を勝ち取った生徒が多数いた。

難関私立大学の結果（ ）内は昨年度人数

早稲田10名(14) 慶應義塾5名(5) 上智7名(4)
東京理科23名(21) 立教15名(14) 明治31名(53)
同志社14名(18) 立命館32名(47)

3. 校内実力テスト偏差値平均による国公立大合格状況（現役）

5教科 平均 偏差値	令和5年度入試						令和4年度入試						合格率(%)	
	受験者(延べ)			合格者(延べ)			受験者(延べ)			合格者(延べ)				
	文	理	計	文	理	計	文	理	計	文	理	計	R5年度	R4年度
60以上	10	19	29	8	13	21	14	31	45	11	18	29	72.4	64.4
59～58	2	10	12	2	8	10	7	17	24	4	9	13	83.3	54.2
57～56	19	15	34	10	10	20	9	11	20	7	8	15	58.8	75.0
55～54	8	9	17	4	7	11	19	20	39	16	18	34	64.7	87.2
53～52	6	24	30	5	16	21	4	14	18	1	11	12	70.0	66.7
51～50	8	26	34	8	14	22	10	18	28	9	12	21	64.7	75.0
49～48	11	23	34	6	9	15	10	22	32	6	13	19	44.1	59.4
47～46	15	23	38	6	17	23	18	21	39	12	11	23	60.5	59.0
45～44	4	16	20	2	9	11	7	17	24	2	11	13	55.0	54.2
43～42	6	9	15	3	7	10	8	16	24	7	6	13	66.7	54.2
41～40	8	9	17	1	4	5	2	10	12	0	4	4	29.4	33.3
39～38	1	6	7	1	1	2	2	11	13	0	4	4	28.6	30.8
37以下	1	6	7	0	3	3	3	4	7	2	0	2	42.9	0.0
合計	99	195	294	56	118	174	113	212	325	77	125	202	59.2	62.2

※3教科型（私立文系型）の者は含まない。

最近3年間の卒業生の合格状況

1. 校種別合格者延数

校種 現・既別 入試年度	国立大		公立大		私立大		短大・準大・各種		合計	
	現役	既卒者	現役	既卒者	現役	既卒者	現役	既卒者	現役	既卒者
令和5年度	146	10	28	2	769	39	7	0	950	51
令和4年度	153	8	53	1	1110	30	13	0	1329	39
令和3年度	145	9	39	3	951	31	14	1	1149	44

2. 校種別・系統別による現役合格者延数

校種 系統 入試年度	人 文			法.経.商.社会			理 工			医 歯 薬 医 療			教 育		
	R5	R4	R3	R5	R4	R3	R5	R4	R3	R5	R4	R3	R5	R4	R3
国立	14	12	12	16	30	13	81	59	71	7	12	13	20	24	18
公立	4	4	4	9	16	10	3	9	8	8	17	13	1	0	0
私立	143	176	164	185	369	193	278	281	307	36	111	131	43	47	57
国公立短	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	6	0	1	0
準大・各種	0	0	1	0	0	0	2	2	2	3	1	2	0	0	0
合計	161	192	181	210	416	216	364	351	388	54	143	165	64	72	75

校種 系統 入試年度	農 水 産			家 政			そ の 他			合 計		
	R5	R4	R3	R5	R4	R3	R5	R4	R3	R5	R4	R3
国立	6	8	8	0	3	0	2	5	10	146	153	145
公立	1	1	2	0	0	0	2	6	2	28	53	39
私立	26	30	20	12	49	20	46	46	59	769	1109	951
国公立短	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	5	7
準大・各種	0	0	0	0	0	0	2	0	0	7	3	5
合計	33	39	30	12	53	21	52	57	71	950	1323	1147

2023年度入試を振り返って

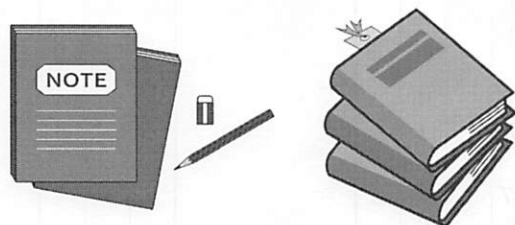
旧3年部進路課

大学入学共通テスト概況分析

今年の共通テストは、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらの3年目を迎えた。今年度は出題内容が定着し、難易度も調整されているようである。昨年度の難化した数学は一昨年並みにもどしている。また、理科②において得点調整が行われ、合計の平均点については、文系・理系ともに大きく上昇した。昨年と比較して「英語R」「生物」「世界史B」「政治・経済」「倫理、政経」で難化、「国語」「倫理」がやや難化、一方「数学ⅠA」「数学ⅡB」「日本史B」は易化している。

設問は探究活動、学習過程を題材にした問題や、現実事象の問題、複数資料を検討する問題など思考力重視の出題が多くみられた。用語の的確な理解に加え、場面設定、状況設定を把握する力や日常生活を題材とした問題、複数のテキストの内容を比較・関連付けて本文と【資料】の共通点を考察する問題、細かい部位についての記述を整理したり、記事中に述べられていない内容を推論したりするような問題が出題され、長い問題文から素早く必要な情報を読み取る力、問われていることの数学的意味を的確に把握する力、図や文章から情報を読み取ったうえで考察する資料の読解力と論理的な思考力が求められた。

(参考 ベネッセコーポレーション 2023年度 大学入試共通テスト徹底分析)

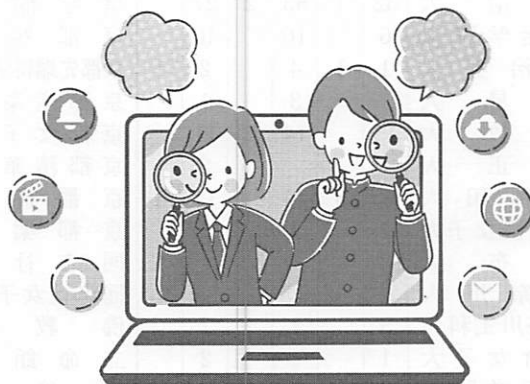


思考力を鍛える

共通テストを含め、大学入試の思考力を求める問題が増えてきている。思考力のベースとなる知識、理解は必要であるが知識の活用ができなければ通用しない。思考力を鍛えるには例えば授業の協働学習で、自分の意見を論理的に他人に伝え、また異なる意見を比較検討する。実験をする際に、作業するだけでなく、実験の設定や操作、結果にどのような意味があるのかを考察したり、仮説を立てて検証したりする態度を身に付けることが対策になるであろう。自分の頭で考え抜く習慣をつける。自分の考えをアウトプットする、どの科目も満遍なく取り組むことによって、2次試験の記述の力も伸びていく。

思考力を鍛えるとは、日ごろの授業に主体的に取り組み、頭を使う習慣を身につけることが大切であろうと感じた。先の見えない時代である。様々な経験が無駄なことだと思わず、自分の力で答えをだそうとする姿勢を学校生活の中で鍛えていきたい。

(旧3年部進路課 佐藤 純)





各学年主任より

「自分の人生は他人が決める」

1年学年主任 野村 保

それが事実です。そうは思いませんか。人生の岐路、節目節目に「自分の努力で成功を勝ち取った」とか「自分の力だけでのし上がった」等と考える人は傲慢ではないでしょうか。こんなことを言うと、多くの人は疑問に思うかもしれない。「自分の努力で人生を切り開くのが当たり前じゃないか」「人生はそんな他力本願じゃないぞ」と。

いや、自分の真意はそこにはありません。「自分の人生は努力次第でどうにでもなる」と思うことは大切ですが、それ以上に、「自分の人生は他人が決める」という当たり前のことを、大切にされた方が上手くいく。そして、それがむしろ「積極的な生き方」と確信するのです。

私は若い頃から、スポーツの世界を過ごしてきました。この世界は努力した者が報われる世界ではありません。勝ち負けより前に「選手」として選ばれるところから厳しい世界があります。「選手」とは「選ばれる人」のことです。では、どういう人間が選ばれるのか。それは、決して実力のある選手ということではありません。そのチームに必要な選手です。そして、チームにとって必要な選手を選ぶのは監督です。監督がどのようなチームを作り、どういう選手が必要か、そこで決めるのです。「自分の方が実力は上なのに」と不満を感じたところで、どうにもならない。そういう世界がいくらでもあります。いや、「社会」とはそういう世界ではないでしょうか。例えば、就職や会社の昇進、結婚だってそうでしょう。そして大学受験も。

もちろん、その「選手」の努力は無駄だったわけではありません。別のチームでは、主力になれることもあるでしょう。また、どこかでその努力が報われる可能性だってあります。ただ、もう少し冷静に考えてみると、選ばれなかった選手が必要だった「努力」とは、「自分がどうすれば選ばれるか」とは考えられず、努力の方向性が違っていただけのかもしれませんが、もっと、自分の向かうべき方向性を見極め、選ばれる努力をすべきだったのではないのでしょうか。難しいことかも知れませんが、それが大切なことだと思うのです。

「自分の人生は他人が決める」そう思えば、その失敗は全て納得です。なぜなら、選ばれる資格がなかったことが明確になるのですから。決して人のせいにはできないのです。一方、「自分の努力で全て何とかできる」と思う人は、得てして失敗を人のせいにしがちです。不満も出ます。「俺は十分努力し、力があるのに」と。成功のために他人と迎合せよというわけではありません。ただ、選ばれる努力が必要だと言っているのです。大学入試をはじめ、進路においても全く同様のことが言えるでしょう。多くの成功者たちが、決まって他人への「感謝」を口にするのは、実は自分の成功の裏に多くの協力者がいたことを知っているからです。

さあ、1年生は新たな気持ちでスタートを切りました。君たちの夢は無限大です。自分がこれから何に向かって努力をしていかなければならないのか。しっかり見極めて取り組んでいきましょう。

自分の持つ「可能性を信じて」。

「自律的学習者」

2年学年主任 石川 貴子

新年度がスタートしました。学校生活にも慣れ、部活動や生徒会活動など様々な面で学校の中心として活躍する年です。勉強以外の事にも情熱を注いでほしいですが、進路実現の面でも大切な1年になります。最難関大学に現役で合格した人は必ず二年生の時から受験を意識した勉強を始めています。まずは目標を決めましょう。何になりたいか、何を学びたいか、どこの大学で実現できるのかを考えて志望大学を決めましょ

う。次に勉強の仕方です。「言われたからやっている」から脱却して、「自分の勉強の型」を見つけて下さい。進路は皆違いますし、かつ自ら動かないと見えてきません。学習計画や学習方法を試行錯誤しながら自分で考えてほしいです。しかし、この時期「中だるみ」になる人もいます。「中だるみ」とは「慣れ」が「だらけ」につながってしまうことです。「言われたからやっている」だけだと中身が形骸化し、惰性で勉強していると

いう状態になり、やる気もなくなります。その状態から脱却するために、自分が主体となる勉強をしましょう。また思ったように結果が出ないことにより「中だるみ」になる場合もあります。目に見えた成果がないと人間はやる気を失ってしまいます。教科書が進むと難しいことも増え、成果が目に見えづらくなります。そこで目標を達成するためのスモールステップを決めて、小さい目標から1つずつ達成していきましょう。例えば小テストや週テストなどが利用できます。勉強をする上で最も大切なのが「やる気」です。勉強がわかる、楽しいと思えばやる気が出てきます。しかし、何もしないで「面白い」という気持ちは湧きません。

小さなことから始めて「やれば結果がついてくる」ことを実感して下さい。最後に「やる気」を出すための3つの方法を提案します。1. 目標設定をする どの方向かえばいいかわからないと進めません。2. 昨日の自分と比べる 比べる相手は他人ではなく、常に自分です。3. 環境（富士高）に頼る 富士高校は勉強する良い環境が整っています。友達はライバルではなく共にそれぞれのゴールを目指す同志です。お互い教え合い、励まし合いながら一緒に頑張ってください。この1年はとても大切な年です。この1年をどう過ごすかを決めるのは自分です。中だるみをうまく乗り切り、ゴール目指して共に頑張ってください。

.....

「努力あるのみ」

3年学年主任 青木 照明

3年0学期の2年3学期が終わり、いよいよ3年1学期がスタートした。君たちは3年0学期をどのように過ごしただろうか？しっかり計画を立ててその通りに実行した生徒もいれば、結局何もせずに時が過ぎた生徒もいたろう。春休みの課題として再度ケースA～Dを考えてもらったが、夢で終わることがなく、ケースAが実現できるように努力してもらいたい。

努力とは、「こうなりたい」「こう変わりたい」という願望を叶えるために、こつこつと願望の達成のために励むことをさす。例えば希望の学校に入るために受験勉強を頑張ることだ。苦しくて挫折しそうになっても、諦めずに希望を持って続けることが努力と言える。努力することが苦でない人もいれば、努力するのは苦手だという人もいる。努力できない人にとっては、「どうしたら努力が続けられるのか」という大きな悩みがあるだろう。

「努力できる人」と「努力できない人」の違いを知るために、努力できる人の考え方や行動の特徴を7つ紹介する。1. 努力とは結果ではなく、振り返った時の過程だと理解している。2. 努力を日々の習慣に落とし込んでいる。3. 努力しやすい環境作りから始める。4. 努力を努力だと認識していない。5. 努力することの大切さがわかるため、困難や試練を楽しめる。6. 人生において明確な目的や目標がある。7. 努力をしたことによる見返りを求め過ぎない。

努力し続けて大きな成功を手にした人の言葉に触れて、努力とは何かを学ぶのもいい経験になるだろう。ここからは、努力について教えてくれるおすすめの名言を5個紹介する。

名言1.「目標を達成するには、全力で取り組む以外に方法はない。そこに近道はない。」

世界的に有名なプロバスケットボール選手であるマイケル・ジョーダン氏のこの名言は、バスケットボールの才能にあふれた彼が相当の努力家であったからこ

そ、今の地位をつかんだことが分かる。持って生まれた才能も、努力なくしては活かせないことを教えてくれる。

名言2.「努力は必ず報われる。もし報われない努力があるのなら、それはまだ努力と呼べない。」

元プロ野球選手で監督としても活躍した王貞治氏。無理やりピッチャーからバッターに転向させられたにもかかわらず、ホームランの世界記録を打ち出した努力家だからこそ言える重い言葉だ。全力で頑張ることの意味を教えてくれる名言である。

名言3.「小さなことを重ねることがとんでもないところに行くただ一つの道」

日米の野球界で名実ともにトップクラスであるイチロー選手は、努力を習慣化し日々のルーティーンを大切にしている。こつこつと努力することが、大きな夢を実現するには不可欠であると納得させられる名言である。

名言4.「練習は嘘をつかないって言葉があるけど、頭を使って練習しないと普通に嘘つくよ。」

練習熱心な努力家として知られているダルビッシュ有選手のこの名言で、惰性の努力は意味がないことに気づかされる人も多いだろう。努力とは、苦しくても続けることではなく、自分の才能を効率的に伸ばすために考えながら行うものだと理解できる。

名言5.「努力する人は希望を語り、怠ける人は不満を語る」

昭和の文豪・井上靖氏のこの名言は、前向きな努力こそいい結果を引き寄せるということを教えてくれる。人に評価されるためではなく、自分のために努力すれば達成感や希望を感じられると思えば、努力が続かないと悩んでいる人も頑張れるだろう。

目標を実現するために工夫しながら自己研鑽することが努力であり、苦勞とはまた違う。

私は、「努力あるのみ」という言葉が好きである。

卒業生より

東京大学 文科Ⅲ類 原 菜乃葉

私が東京大学を目指し始めたのは高校一年生の頃だったと思います。絶対入りたいという訳でもなく、まずは日本で一番の大学を目指して勉強していこうという考えのもとでした。結果的に合格できましたが、当時のふわっとした志のままここまで来てしまっているので、実は進路のことを真剣に考えたことはあまりありません。大学でやりたいことを見つけられればいいだろうと楽観的に考えています。

本当は、自分の将来について、(決まらないにしても)高校生のうちによく考えておくことはとても大切なことです。もっと言えば、大学の情報よりも、将来何をしたいのか、どんな風に働きたいのかを調べておくことのほうが大事かもしれません。

私の受験勉強の経験は皆さんの何かの役に立つかもしれないので伝えておきます。まず、単語、特に英単

語を侮らないこと。後から詰め込もうと思っても量が膨大で、とても覚えられません。単語帳とは仲良くしましょう。次に、睡眠をしっかりとること。授業や補講は効率よく知識と理解が身につく絶好の機会です。受けたい授業で起きていられるように、夜は寝ましょう。最後に、先生を積極的に利用すること。富士高以上の進学校は数多くありますが、富士高以上に手厚く面倒を見てくれる学校はそうそうないと思います。添削をお願いすれば大抵快諾してくれますし、質問すれば分かるまで説明してくれます。私は受験期にほぼ毎日職員室に通いました。自分にとって一番分かりやすいと感じる先生のところに通いましょう。

簡単にはなりますが、以上が私のできる助言です。もっと良い勉強法もネットにあるので参照してください。皆さんのより良い前途を祈っています。

京都大学 理学部 若月 智哉

3年生のみなさん、そして1年生、2年生のみなさんも受験勉強を始めようとしている人も多いと思います。

私がここで伝えたいことは、「遠回り」を恐れないということです。「急がば回れ」ということではありません。むしろ、行き先の分からない道、もしかしたらキケンが待っているかもしれない道に足を踏み入れてみたらどうでしょうかというススメです。

勉強を進めていく上で、誰もが「何のために勉強をするのか?」という問いに突き当たると思います。単に、「志望校に合格するため」と答えてしまっただけでは面白みに欠けます(暫定的な答えとしては十分ですが)。もしそれだけだとしたら、受験に関係のない科目、内容を既に理解している回の授業、総合的探求の時間はすべて無意味だということになってしまいます。

勉強は未知との出会いです。初めて方程式を習った

時、初めて三角関数を習ったとき、初めてベクトルを習ったとき、それらがどのように役立つのかは分からなかったと思います。でも、勉強を進めていく中で、それらがどんな意味を持つかが明らかになっていったと思います。「何のために勉強するのか?」という大きな問いも、実は勉強をしていく中で見つけていくものです。色々な勉強法を試し、友達と分からないところを話し合う。そういうことを地道に続けていくうちに、ふとした時に自分がやってきた勉強の意味が分かってくる場合があります。

受験勉強は辛い、と多くの人は言いますが私はそれだけではないと思います。塾などの決められたコースではなく、自分で切り拓いた道を進んでみてはどうでしょうか。教科書、参考書に縛られず自分だけの勉強法を模索してみてはどうでしょうか。失敗を恐れずに進んでいけば、きっと楽しい勉強ができると思います。

現役合格数の比較

	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	31年	R2年	R3年	R4年	R5年
国立	180	163	180	152	180	164	146	139	128	161	145	153	146
公立	38	30	39	32	41	42	40	36	42	41	39	53	28
私立	472	550	599	669	753	733	701	604	763	880	951	1110	769
(国立)													
北海道大	6	6	8	4	5	5	6	3	5	5	3	4	3
東北大	12	16	13	9	6	12	9	6	8	6	7	11	7
東京大	5	4	4	1	4	2	5	2	1	1	3	1	1
名古屋大	9	8	20	13	7	13	8	6	7	11	4	8	10
京都大	4	2	3	4	2	0	2	0	1	4	3	4	4
大阪大	8	9	6	1	4	1	6	2	1	3	4	3	2
九州大	2	0	0	3	1	0	1	1	1	1	2	2	1
一橋大	2	1	1	1	0	0	1	1	1	1	0	3	0
東京工業	2	1	0	0	0	1	0	2	1	1	2	1	1
医学部医学科	1	4	7	4	5	6	2	5	5	6	4	4	2
計	51	51	62	40	34	40	40	28	31	39	32	41	31
筑波大	1	1	1	0	4	1	1	7	4	4	6	2	5
お茶の水女子大	2	3	2	3	1	0	2	1	0	5	1	1	1
千葉大	8	8	6	6	10	12	7	6	9	5	10	11	7
横浜国立大	4	6	10	3	10	5	4	4	4	4	3	4	7
計	15	18	19	12	25	18	14	18	17	18	20	18	20
静岡大	55	31	37	32	44	35	25	41	30	37	45	35	33
静岡県立大	13	10	9	8	9	14	13	6	11	19	13	19	12
(私立)													
早稲田大	11	14	10	10	15	1	7	7	7	7	12	14	10
慶應義塾大	10	8	4	7	10	2	3	5	4	5	4	5	5
上智大	3	3	4	2	6	0	4	1	1	2	4	4	7
東京理大	3	30	41	29	35	27	27	20	9	15	23	21	23
中央	19	22	21	16	18	25	15	17	15	35	29	36	22
明治大	25	43	32	28	32	23	21	15	18	31	27	53	32
立教大	9	29	21	22	17	13	4	8	8	18	11	14	15
同志社大	5	14	12	5	5	5	4	8	9	5	15	18	14
立命館	15	25	30	27	25	25	18	17	46	28	20	47	32

医は名大
1を含む

医は東北大
1を含む

医は名大
1を含む

医は東北大
1を含む

◆進路課より◆

この「進路室だより」が配付されるころ、卒業生たちはどんな生活を送っているのだろうか。不安で不確実な日々を送っているかもしれない。すべての人が第一志望の合格を勝ち取れるわけではないというのは当然のこと。しかし、だからこそ精一杯前向きに取り組むしかない。これから入試に挑む皆さんが満足のいく結果を得られることを切に願う。

ぜひ「進路室だより」に寄せられたメッセージに目を通して、進路実現の糧としてほしい。